

B & G財団

「子ども第三の居場所づくり事業」の助成決定書授与式

令和5年8月28日、B & G財団「子ども第三の居場所づくり事業」の助成決定書授与式が明和町役場で行われました。



【B & G財団 朝日田常務理事(左)と私】

【すべての子ども達に、安心できる居場所を】

家庭が抱える困難が複雑・深刻化する現代、地域のつながりも希薄になる中、子どもが安心して過ごせる居場所がなく、孤立するケースは少なくありません。子どもたちの困難は家庭や学校だけでは対応が難しく、またその困難が家庭や学校に起因する場合があります。

そこで、明和町はB&G財団の支援により建築費5,000万円と運営費4,200万円（3年間分）、総額9,200万円を活用して、すべての子どもたちが未来へ希望を持ち、安心して過ごすことができる「子ども第三の居場所」を設置します。この居場所が、地域のネットワークの結節点となり、子育てコミュニティが生まれることで、「みんなで、みんなの子どもを育てる」社会を目指します。

気軽に利用できる「子ども第三の居場所」があることで、子どもたちが孤立する時間に家族や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して関わりながら過ごすことができます。「子ども第三の居場所」には、自立に向けた練習の場としてキッチンや浴室を備え、生活習慣や学習支援、食事等を支援し、家庭環境の改善や将来の自立に向けて「生き抜く力」を育みます。



【安全祈願祭の様子 来年4月のオープンを目指して】

【B & G財団より防災拠点も整備】

第93回町長コラムでもご紹介しましたが、令和5年8月17日に、B & G財団と防災拠点の設置および災害相互時支援体制構築事業として、「協定書調印式」および「配備機材お披露目式」が行われました。



【B & G財団 菅原理事長が挨拶される様子】



【防災資機材と記念撮影】

災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベル

やダンプ、救助艇などの機材配備や災害時に動ける職員の人材育成に係る費用について助成をいただき、周辺自治体との災害時相互応援協定の締結などを推進、総額5,400万円を活用し、もしもの場合に備えてまいります。

【B & G財団に感謝！】

B&G財団と明和町は、海洋センターの運営から縁ができ、今日まで色々な支援をしていただきました。誠にありがたく存じます。今後も末永くお付き合いいただけますよう、よろしく願いいたします。

令和5年9月25日

明和町長 富塚もとすけ